

令和6年度 第2回下野市地域公共交通会議 会議録

日時	令和6年11月25日（月）午前10時～午前11時
開催場所	下野市役所3階 304会議室
出席者	長田委員（会長）、真下委員、佐藤委員、角田委員、鶴見委員、原委員、薛委員、山川委員、金清委員、菅井委員、滝田氏（石崎委員代理）、中田委員、荒井氏（塩田委員代理）、荒川委員、井沼委員、直井委員、川嶋委員 17名
欠席委員	菊地委員、一戸委員、横尾委員、保坂委員、小矢島委員、君島委員、川中子委員 7名
傍聴者	なし

次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 地域公共交通会議条例の改正について
 - (2) 委員の委嘱について
 - (3) 地域公共交通計画策定の調査内容について
 - (4) 自動運転バス実証実験について
 - (5) その他
4. 閉会

(事務局) ○開会

○会長あいさつ

(長田会長) 本日は4つの議題があり、前半は公共交通会議の組織について、後半は来年度の計画策定に向けての内容と、今年度実施する自動運転バスの実証実験についてとなっている。

委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら会議を進めていきたい。

○議事録署名人選任

名簿No.5番 角田委員、名簿No.15番 中田委員

なお、下野市地域公共交通会議条例第6条第2項の規定に基づき、出席者17名で会議成立。

また、下野市審議会等の設置運営要綱の規定に基づき、議事録は発言した委員名も含め、ホームページで公開する。

○議題1【地域公共交通会議条例の改正について】

- (長田会長) 議題1について、事務局より説明をお願いします。
(事務局) 地域公共交通会議条例の改正について説明(資料1)。
(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
(意見なし)

○議題2【委員の委嘱について】

- (長田会長) 議題2について、事務局より説明をお願いします。
(事務局) 委員の委嘱について説明(資料2)。
来年度は地域公共交通計画の改訂作業があり、委員にも協力をいただくことになる。現委員の任期が今年度末の令和7年3月31日となっているが、1年に限り任期の延長をお願いしたい。
(長田会長) 事務局から説明のあった任期の延長について、賛成していただける方は挙手をお願いします。
～挙手全員～
全員賛成ということで、令和7年度引き続き現委員でお願いします。

○議題3【地域公共交通計画策定の調査内容について】

- (長田会長) 議題3について、事務局より説明をお願いします。
(事務局) 地域公共交通計画策定の調査内容について説明(資料3)。
(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
(菅井委員) 仁良川地区へのコミュニティバスを検討するということだが、現状の移動手段は自家用車なのか。
(事務局) 自家用車が多いが、新たに転入してくる方は車を持っていない方もいるようで、特に仁良川地区は若い方からの公共交通の要望が多い。
(菅井委員) アンケート調査では必要という回答が多くても、実際は利用しないという場合も多いため、アンケート調査に加え地域住民へのヒアリングやワークショップ等を実施し本当に必要かどうかは確認したほうがよい。
(長田会長) アンケートだけでなく、ヒアリングは必要と考える。
(佐藤委員) 高齢者が一番困っているのは、移動の足について。運転免許証を返納すると行きたいところに行けなくなってしまう。
市のスクールバスは日中空いているが、児童生徒の送迎目的以外には利用できないと聞いた。

(長田会長) スクールバスについては、制度としては公共交通の中に組み込んで良いとされているため、来年度の計画策定の中で皆さまと議論できればと考えている。

(真下委員) 小山市のおーバスが小金井駅まで乗り入れているため、小金井駅から自治医大駅間の駅東地区、グリーンタウン地区、仁良川地区を周遊するようなコミュニティバスが必要と考える。

(事務局) おーバスの小金井駅から自治医大病院まで延伸について、以前小山市と協議をしたが、需要が見込めないため小山市から断られた経緯がある。

下野市として小金井駅と自治医大駅間の公共交通を考えていく必要があることから、今回提案させていただいた。

(長田会長) アンケート調査の内容でお気づきの点があったら、事務局に連絡をお願いします。

○議題4【自動運転バス実証実験について】

(長田会長) 議題4について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 自動運転バス実証実験について説明(資料4)。

昨年度の実験概要と今年度の実験について説明。実証実験の期間については1月末～2月末を予定しており、詳細は決まり次第案内する。

(長田会長) 栃木県や関東自動車から補足等があるか。

(栃木県滝田氏) 県としては令和2～5年度にかけてABCプロジェクトとして実証実験を実施した。プロジェクトで培ってきた技術や知識を各市町に横展開し、県内での自動運転バスの本格実装を県としても後押ししていく。

下野市については県内でも実装に一番近いと考えているため、県としても下野市、関東自動車、関係機関と協力して令和7年度末の本格実装を目指していきたい。

今後も、公共交通会議には随時情報提供させていただく。

(関東自動車荒井氏) 車両は前回同様リースでエルガミオを予定している。1月中旬に調律及びラッピングを行い、実際の運行は1月下旬からとなる見込み。ブレーキ制御の改善などスムーズな運行ができるよう調整し、令和7年度中の許可申請に向けて進めていきたい。

実証実験の際は近隣の方へのアンケートも実施予定のため、その際にご協力いただきたい。

(長田会長) 全国各地で実証実験を行っているが、県内の実路線においてレベル4で運行するのは下野市だけになると思うので、PRして皆さんに乗っていただければと思う。

アンケート等の実施の際は協力いただきたい。

○議題5【その他】

(長田会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 下野市産業祭への参加について説明(資料5)

おでかけ号通信について説明(資料6)

(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(意見なし)

他、委員の皆さまから何かあるか。

(直井委員) デマンド交通おでかけ号の利用は午前中が多く、行先も石橋病院が一番多い状況である。現在、ゆうがおバスが石橋駅と獨協医大病院間を運行しているが、9時台及び12時台の便で石橋病院を中継することはできないか確認したい。

(関東自動車荒井氏) すぐに回答はできないが、石橋病院への需要が多いということで、鉄道接続が原則ではあるため、駅から病院へ向かうまたは病院から駅へ向かう鉄道アクセスを踏まえた時間設定を考える必要がある。おもちゃのまち駅から獨協へ需要も多いため、おもちゃのまち駅との接続も踏まえて考える必要がある。

(長田会長) 今回の意見を踏まえてルートや病院敷地内の使用など、今後の運行について検討させていただきたい。

住民にとって良い路線になればと思うので、ご協力をお願いします。

(鶴見委員) 民生委員児童委員協議会の委員から、おでかけ号やタクシー会社への苦情を預かっている。(鶴見委員より資料配布)

・おでかけ号の対応や予約の取りにくさについての苦情

・タクシーに対する苦情

(荒川委員) おでかけ号登録者が多くなってきたため、利用者の希望する時間に予約がとりにくくなってきている状況。利用者が集中する時間の需要にこたえることが非常に困難であり、利用者の満足度の低下の要因となっている。

満足度を上げるため台数を増やすことは、行政の財政負担を考えると難しいと考える。

担当者の対応の悪さについては、以前から言われているため、現在予約センターのオペレーターを変えている。高齢者に対する言葉遣いなどを改善するようにしている。

タクシーについても、乗務員不足や高齢化に伴い配車しにくい状況であるため、全国的にはライドシェアも改善策の一つとして検討している。

(長田会長) 本日の議事は全て終了したので、進行を事務局にお返りする。

(事務局) 以上で本日の会議は終了とする。

○閉会